

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691300018
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム はまんだ
所在地	鹿児島県西之表市西之表6602番地1 (電話) 0997-23-3992
自己評価作成日	平成30年12月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月2日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で認知症になってもなるべく今までと変わらない生活が続けられる様に支援しています。好きなことを続けていけたり、外出など今まで続けていたようなことが自然とできるような環境の構築を目指しています。地域の方々や近くの幼稚園からの園児たちの慰問・老人会等の方々の慰問などを通して、地域の住民としての喜びを感じられるように支援・協力していただいています。今年度は今までなかなか出掛けることが出来なかった夜の地域行事等(花火大会や夏祭りなど)にも積極的に参加出来るように支援しました。入居者同士の触れ合いにも目を向けて、孤立しないように工夫したりしています。また同法人内の訪問看護ステーションとの医療連携体制を結んでおり、週に一度の訪問看護の実施、月に2度の担当主治医の往診で入居者の方々の健康管理に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念の「笑顔あふれる我が家」を職員は意識して、一人ひとりと話をする時間を多くとり、思いを把握している。
- ・地域行事の運動会や幼稚園児・老人会・女性消防団・JA女性部等の多くの団体の慰問やボランティアの受け入れをして、楽器の演奏や踊り・指人形劇・大正琴の演奏などで、利用者も一緒に歌ったり踊ったりしている。法人の夏祭りには住民の参加も多く、地域と交流を行っている。
- ・毎月の便りや家族交流会の食事会で家族間の交流があり、宿泊される方もあり、本人と家族の絆、家族と事業所との信頼関係が厚い。
- ・健康管理は、法人系列の診療所医師や訪問看護ステーションと医療連携体制が整っており、主治医の往診も定期的に行われ、適切な医療体制が整っている。
- ・管理者は、職員の意見や提案を聞いて働きやすい環境を整え、利用者が安心して日々の暮らしが送れるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念の共有を通して、理念に基づいた支援が提供出来るように職員に意識改革を図っています。</p>	<p>理念は職員間で見直しを行い、常に意識付けできるようにホールや玄関・事務所内に掲示している。毎月のミーティングで振り返りを行い、反省点を明確にして取り組んでいる。新人研修時においても学習している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域行事への参加を通して社会交流が出来るよう支援しています。また老人会・地域の婦人会・近所の幼稚園などの慰問も実施して地域との繋がりを保っています。</p>	<p>日常的に地域とのつながりが深く差し入れや提供があったり、老人会・婦人会・幼稚園・唄会・ボランティア等の慰問も多く、ホーム自体が地域の一員として交流している。法人祭りは地域の方も多く参加し、一緒に楽しんでいる。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>市と法人が共同で実施している認知症カフェでグループホームの理解や認知症の理解を深めるよう情報発信したり、スライドなどを使って説明しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、地域住民の代表者、ご家族、市の担当職員を交えてグループホームの活動報告や現況の報告などを行っています。</p>	<p>定期的に開催し、事故報告やヒヤリハット・ホーム活動等の報告も詳細にしている。地域住民の代表も毎回参加し、住民が気軽に立ち寄れるよう連携を取っている。地域の独居世帯マップを作成中である。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当職員にも運営推進会議に参加してもらい意見交換をしたりサービスの質の向上の為に話し合ったりしています。</p>	<p>市の担当者とは日頃から連携を取り良好な信頼関係を築いている。困難事例に対してもアドバイスを得ている。市の研修会を通してサービスの向上に役立っている。管理者が認知症のキャラバンメイトの研修会で講話をする等、市の事業にも協力している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人全体で身体拘束防止委員会を立ち上げ、そこで各事業所での事例を挙げ、それを事業所に持ち帰りミーティングなどでどのようにするべきかを意見交換しています。法人全体での身体拘束防止の研修も実施しています。また各個人の身体拘束などの反省点などをオープンに話し合えるような環境を作っています。</p>	<p>法人の身体拘束防止委員会中心の研修会に参加し、権利擁護・身体拘束について、各事業所から事例を提起し研修を行っている。ホームでのフィードバック研修を実施している。日中は玄関施錠はせずに外出する利用者には、職員が同行し常に寄り添う体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	法人全体での研修や勉強会を通じて虐待防止や権利擁護について学ぶ機会があります。また当事業所のミーティングで身体拘束、虐待、権利擁護についての反省点などをオープンに話し合える環境を構築し、各職員が虐待などについて改めて自己を見直す機会を作っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人全体での研修や勉強会を通じて虐待防止や権利擁護について学ぶ機会があります。また上記6.7と同じように当事業所で話し合える機会を作っています。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分に時間を掛けて説明を行い、質問や疑問があればいつでも尋ねることが出来るように配慮しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	普段からオープンで話しやすい雰囲気作りに心掛け、ご家族や入居者等から意見や要望が出た際は職員間で話し合い改善に向けて取り組むようにしています。	年2回の家族交流会を実施し、屋外焼肉会を開催することで家族間の交流も深まり信頼関係も更に強くなった。日中勤務の家族からの要望でメールでの報告を取り入れ大変喜ばれている。宿泊希望の家族にも対応可能としている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員から意見を言いやすい環境を作り、勤めています。意見が出た場合はその場で話し合ったり、ミーティングなどで話し合ったりしています。	職員間のコミュニケーションが良く、お互いの意見も出しやすい。管理者との個別相談も実施している。勤務希望にも対応し働きやすい状況である。ケアや備品請求に関する意見も積極的に行い、外出希望の計画もある。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人は、半年に1回自己を見つめ直す機会として自己評価を実施し、上司評価を加え個々の能力を判断しています。個々の能力に応じ外部研修などの参加を促し、向上していけるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己評価・上司評価を通して個々の能力を判断し、個々の希望や能力に応じて外部の研修に参加出来るようにしており能力や技術の向上が出来る環境作りを努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	法人として県社協や老協等が行う研修に参加出来る機会を設けて同業者との交流を図れるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の初期段階で不安に思っていることや、要望等を時間を掛けてお聞きし安心してホーム生活が送れるよう職員や他入居者との関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時などサービス開始前の段階、入居時の初期段階にゆっくりとお話する時間を作って、要望などを応えられるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族等がサービス利用段階で何を望んでいるのか、何が必要なのかをお話する中で見極め、他のサービス利用も視野に入れて対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を共に暮らす家族のように尊重し、常に同じ目線にたって問題解決に向け取り組んだり、お互いに助け合えるような関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様やご家族からオープンに話せる環境を作り、その中で意向や思いを聞き取り、問題事の解決にみんなで話し合ったり、ご本人と十分に話し合ったりして解決できるような関係構築に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや買い物や病院受診時など馴染みの人が居た場合はゆっくりと話ができるように支援したり、関係が途切れないように馴染みの場所に出掛けたりしています。	知人や友人・地域住民の訪問が随時ある。近所の店に買い物に出かけたり、馴染みの美容室に訪問したりして関係の継続を大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が孤立したりしないように支援したり、一緒に支えあえるような関係構築に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了したご家族が当ホームにいつでも来れるように声かけしたり、ホーム外でお会いになった際は声を掛け現況を聞いたりして関係継続に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を日常の会話の中から聞き取り、把握するよう努めています。聞き取りや会話が困難な方はその人の生活歴や昔のことなどをご家族から聞き取りなどして把握に努めています。	日常生活の中で話しやすい雰囲気をつくり、個々の思いや意向を把握している。日頃からゆっくりとした時間を大事にし聞き取りもしている。気付きを記録に残し職員間で共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や過去の話などを、ご本人又は家族や知人などから聞き取り把握に努め、ケアに役立てている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの暮らし方を理解把握して、その人に応じた生活リズムを提供するように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	関係各位の意見やアドバイスを聞いて、それをプランに反映させるようにしています。介護者本位にならないようご本人主体に考えたプラン作成を心掛けています。	本人や家族の意向を大切にケアプランの作成を行っている。毎月のモニタリング、半年に1回ケアプラン評価、状態変化時は常に見直しを行っている。担当者会議には本人・家族・看護師など、多職種の参加があり情報を共有できている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活状態や変化が把握できるように個別に記録を取っています。またスタッフ全員が情報共有出来る様にしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々の変化やニーズに対して、職員本位ではなく、その人主体にして考え、その都度柔軟に対応出来る様に取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議、地域の老人会・婦人会・子供会などにも協力して頂き、ホーム内外で楽しく暮らして行けるように支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時に充分説明をして協力医療機関をかかりつけ医として、月2回の往診を行っています。訪問看護との連携ですぐに受診できる体勢も整えています。</p>	<p>法人系列の診療所医師との連携が密に取れており、緊急時の対応も可能。往診は月に2回、または同系列の訪問看護ステーションより看護師の訪問も週1回実施している。かかりつけ医や精神科の受診にも対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>変化や気づき等があれば、協力医療機関の看護師や訪問看護師等に報告し、判断を仰いでいます。また日々の入居者の状態がわかるように記録を閲覧出来る様にしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、患者の必要な物等を病院関係者から連絡が来て届けたり、手術の際も連絡を頂き付き添ったりして情報交換を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時等に終末期の意向のお話や説明をしています。また早い段階から本人、ご家族、主治医などのそれぞれのお話を伺い、方針を共有して看取り指針マニュアルを作成し周知に努めています。</p>	<p>看取り指針マニュアルを作成し入居時に説明をしている。状態変化時には再度家族の意向を確認し、診療所医師と一緒に方針を決めている。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人で開催する救急救命士による応急処置初期対応の勉強会を年に2回実施しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回火災時の避難訓練を昼・夜を想定して行ってもしもの時に適切な対応が出来るよう訓練しています。また大災害時のときも地域の方々の協力をもたえるように運営推進会議など通してお願いしています。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で消防署の指導のもと実施している。地震・津波を想定し地域の避難所まで利用者・職員が避難移動している。青年部の協力体制も整備している。災害時には個々のファイルを持ち出す準備をしている。防災グッズや備蓄を法人で用意している。ホームでも食料品等、準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、その人にあった声かけを心掛けて誇りやプライバシーを損ねないように配慮しています。	月2回の職員研修がある。交代で参加できるよう取組んでいる。排泄や入浴時のプライバシーの確保も徹底し、言葉使いには特に注意し、職員全員で意識しながら日々のケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その人にあった言葉掛けで、意向や思いを言いやすいように配慮しながら自己決定を促しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースや時間配分に合わせるのではなく、入居者一人ひとりに合わせた支援が出来る様に教育しています。どんなことがしたいのかなど希望をかなえられるような支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	若い頃にしてきた、化粧やおしゃれや身だしなみが出来る様に支援しています。また意向を伺いながら、マニキュアや化粧をしてあげたりと入居者の皆様から喜んでもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時々、入居者と一緒に料理をして、料理をする楽しみを感じてもらっています。片付けや準備などは日常的にしてくれる方も出てきていい効果を生んでいます。	食事に関することは特別養護老人ホームの栄養士に相談し、食事形態の刻み・トロミ食等を個々の状態に応じて提供している。行事食や手作りケーキなども入居者と一緒に作ることで食欲増進を促している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量をチェックし把握に努めています。水分摂取の少ない人には声かけて摂っていただくように心がけていますが、同時に無理強いしないように注意しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促していますが、嫌がる人も居ます。そういう人には時間を置いて再度声かけしたり、お茶でのうがいなどで対応したりと一人ひとりの状態状況に合わせて対応しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握して全員がトイレで出来る様にしています。夜間トイレへの移動が出来ない人には、ポータブルトイレなどを用意していただいています。	排泄チェック表を活用し、時間を見てトイレへ誘導し対応している。羞恥心に配慮しながら一人ひとりの力や排泄のパターンを活かし、トイレでの排泄を支援している。ポータブルトイレは夜間のみ使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がちな方には排便パターンを記録して下剤などで対応したりしています。普段の食事でも乳製品を使用したりと便秘予防、改善に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	目安として予定を決めていますが、その日に本人の意向をお聞きするなどして配慮市ながら、入浴支援しています。毎日入りたい方、夕方入りたい方など出来る限り職員の業務のペースにとられないよう本人の意向を優先して支援しています。	入浴は週2回としているが、個々の希望に応じて対応している。入浴拒否があっても声かけや促しで無理強いせず、時間をずらすなどの工夫をして入浴ができています。足浴の対応もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれ一人ひとりのペースで休息したり、眠ったり出来るように支援しています。夜眠れない場合は、その人の希望を伺って起きてもらったりして対応をしています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルを作成して、スタッフがいつでも確認出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活、入所時の聞き取りなどで好きなことや物を把握するよう努めて、それが出来るような支援に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの意向を伺って、ドライブに誘ったりして戸外に出掛けられるように積極的に支援しています。時にはイベントなどで遠出もしたりして、入居者様も普段行けない場所に行けて喜んでもらっています。	海岸沿いを散歩したり、ドライブに出かけたりして、日常的に外出支援を行っている。車で遠方に出かけることもある。近所の店に買い物に出かけ地域の人達とコミュニケーションを図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの方が常時お金を所持したり適切に使うことが難しくなっているので、一人ひとりの力に応じて買い物を支援したり、所持できる人には希望に応じてお金を持っていていただきご自分の使いたいときに使っていただいています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をしたいという人がいれば、相手方に支障の無い時間帯であれば電話をかける支援しています。携帯を所持している人にはいつでも電話が出来る環境が整っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節の花を飾ったり、季節にあった装飾を施したりして、居心地良く過ごせるように支援しています。	共用空間は明るく開放的でくつろげるリビングが2ヶ所ある。空気清浄機・加湿器一体型の設備があり、空調管理が適切に行われている。写真や季節の花が飾られており、来訪者からの色紙が飾ってある。利用者同志の席の配慮もあり、好きな場所でゆっくりとくつろぎ、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中でも一人になれたり、別の場所でくつろげるように椅子やソファのセッティングにも工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具や掛け軸など使い慣れたものを本人の希望も伺いながら配置して、生活がしやすいように工夫して支援しています。	室内はエアコンや洗面台を設置している。テレビ・ベッド・タンス・ソファ・掛け軸・位牌など、個々の生活環境に応じて使い慣れたものを持ち込み、安心して暮らせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室からトイレまでの導線に手すりなどを配置して自立した生活ができる様にしています。本人の出来ることを最大限に発揮出来るように支援しています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない